

4.3 砂防施設効果事例

平成24年九州北部豪雨において、阿蘇地域では多数の斜面崩壊等による土砂移動現象が発生した。しかし、平成2年一の宮災害以降に進めてきた砂防施設が効果を発揮し、発生・流出した土砂を捕捉し、被害を免れた。



写真 4.3-1 坂梨地区における既設砂防堰堤の施設効果



阿蘇地域振興局管内 九州北部豪雨災害における砂防堰堤捕捉効果

塩井川砂防堰堤	豆札川砂防堰堤	平保の木川砂防堰堤
		
流木捕捉状況(下流側より望む) スリット部近景	全 景 下流側から施設を望む	全 景 下流側から施設を望む
		
流木捕捉状況(上流より望む) スリット部を上流から望む	流木捕捉箇所の下流域状況 前庭保護工及び流路内に土砂・流木堆積なし。	流木捕捉箇所の上流域状況 堆砂域上流に流木の堆積が認められる。

阿蘇地域振興局管内 九州北部豪雨災害における砂防堰堤捕捉効果

古恵川11号砂防堰堤	古恵川箱石1号砂防堰堤	八反田川砂防堰堤
		
全 景 下流側から施設を望む	全 景 下流側から施設を望む	全 景 下流側から施設を望む
		
流木捕捉箇所の下流域状況 前庭保護工内に土砂・流木堆積なし。	流木捕捉箇所の下流域状況 泥質土砂及び流木が少量堆積。	流木捕捉箇所の下流域状況 流路内に巨石の堆積が認められる。

阿蘇地域振興局管内 九州北部豪雨災害における砂防堰堤捕捉効果

古閑の滝砂防堰堤	古恵川9号砂防堰堤	古恵川砂防堰堤
		
全 景 下流側から施設を望む	全 景 下流側から施設を望む	全 景 下流側から施設を望む
		
流木捕捉状況 上流から下流向き	流木捕捉箇所の下流域状況 流木の堆積は認められない。	流木捕捉箇所の下流域状況 前庭保護工内に土砂・流木堆積なし。

阿蘇地域振興局管内 九州北部豪雨災害における砂防堰堤捕捉効果

赤鹿川砂防堰堤	仮川砂防堰堤
	
全 景 下流側から施設を望む	全 景 下流側から施設を望む
	
流木捕捉箇所の下流域状況 前庭保護工内に少量の土砂・流木あり。	流木捕捉箇所の下流域状況 前庭保護工内に礫堆積

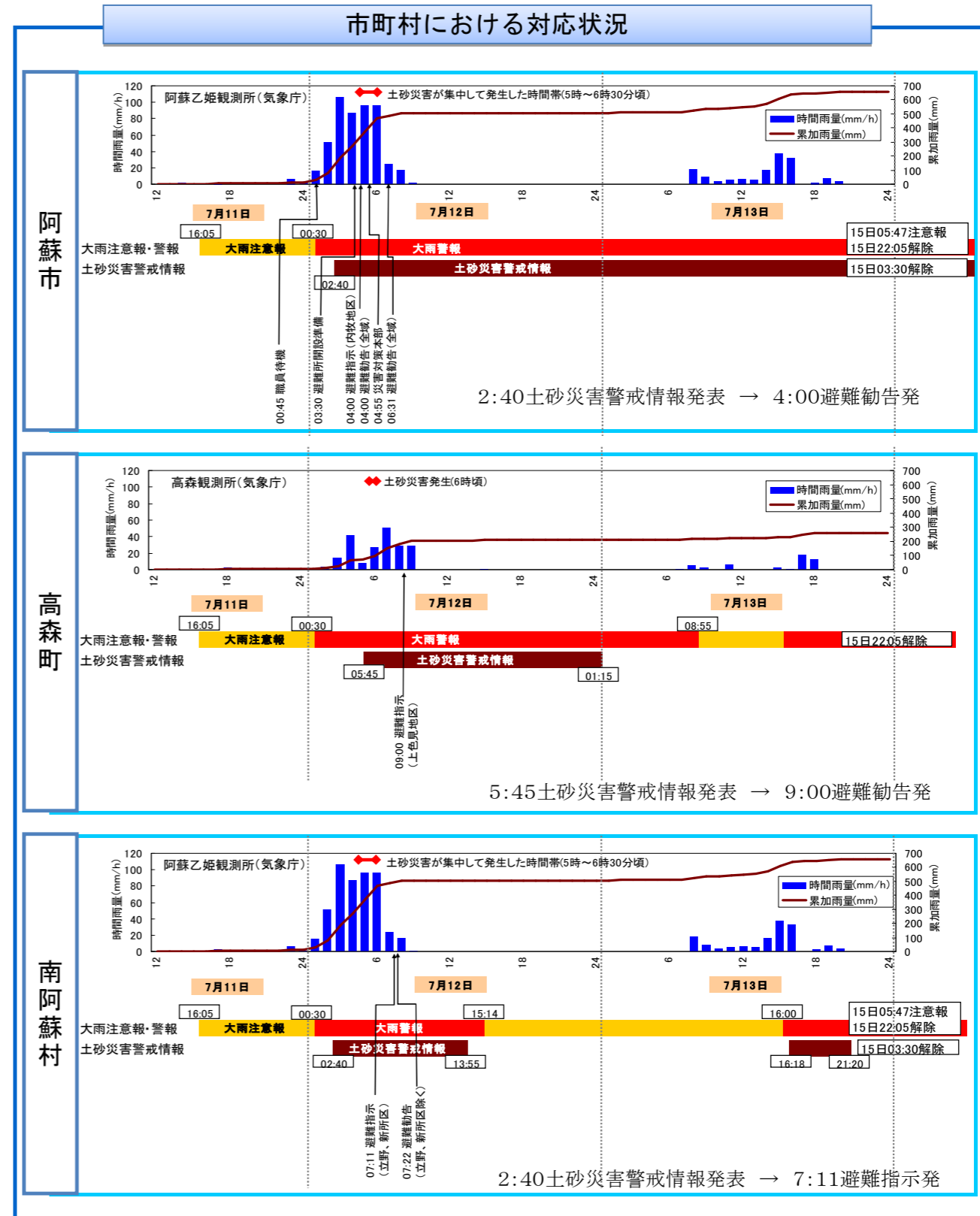
4.4 警戒避難の実態（概要）と課題

土砂災害警戒情報とは、

大雨警戒が発表中にさらに雨が降り続き、土砂災害発生の危険度がさらに高まった時に発表する情報で、
 ① 市町村長が、防災活動や住民への避難勧告等の災害応急対応を適時適切に判断出来るように支援する。
 ② 住民の自主避難の判断にも利用出来るようにする。
 ことを目的として発表しています。



2時間先までの降雨予測を用いて土砂災害の危険度を予測し、避難に必要な時間を確保します。



課題

- 県と气象台とが共同で発表している土砂災害警戒情報について、
- ① 市町村長が避難勧告等の発令を判断しやすくするため
- ② 住民の避難行動（避難しようという動機付け）に繋げるために必要とされる対策（工夫）はないか。